教　員　略　歴

氏名　　稗田　雅洋

学　　歴　　等	
年　月	事　　項
昭和60年3月25日	早稲田大学法学部卒業（学士）
令和4年7月14日	名誉博士（法学）（ドイツ・アウクスブルク大学）

職　　歴	
年　月	事　　項
昭和62年4月10日	東京地方裁判所判事補 （平成1年7月～同3年6月ドイツフライブルク大学・アウクスブルク大学在外研修）
平成3年7月1日	最高裁判所事務総局刑事局付
平成6年4月1日	東京地方裁判所判事補
平成7年4月1日	福岡地方裁判所判事補　平成9年4月10日福岡地方裁判所判事
平成11年4月1日	最高裁判所調査官（刑事調査官室）
平成14年4月1日	最高裁判所刑事局第二課長　平成16年4月1日同局第一･第三課長
平成19年4月1日	東京高等裁判所判事
平成20年9月22日	東京地方裁判所判事（部総括代理）
平成23年4月1日	千葉地方裁判所部総括判事
平成25年12月20日	東京地方裁判所部総括判事
平成29年4月1日	早稲田大学法学学術院教授（法務研究科）

研　究　業　績　等	
年　月	事　　項
令和 4年9月	・条解刑事訴訟法（第５版）編集委員
平成30年3月	・裁判員裁判と刑法（共著）
平成29年4月	・証明の程度（刑事訴訟法判例百選第10版138～139頁）
平成30年1月	・裁判所の責任能力判断と検察官・弁護人の訴訟活動の在り方（季刊刑事弁護93号29～36頁）
平成31年2月	・司法制度改革後の刑事裁判が目指すべき姿について（井上正仁先生古稀祝賀論文集471～495頁）
令和1年11月	・同種前科による事実認定（最判平成24･9･7）（法学教室470号25～31頁）
令和2年7月	・裁判員と充実した審理・評議を行うために（刑事手続法の理論と実務257～280頁）
令和2年9月	・取調録音・録画記録媒体の実質証拠としての取調べについて（研修867号3～16頁）
令和3年5月	・妄想等が犯行に影響を及ぼした場合の責任能力判断（刑事法ジャーナル68号84～104頁）
令和3年8月	・責任能力判断における発達障害の位置づけ（司法精神医学16巻1号41～47頁）
令和4年3月	・刑事裁判において被疑者取調べが果たすべき役割（高橋則夫先生古稀祝賀論文集（下巻）667～679頁）
令和4年5月	・刑事裁判における犯罪被害者保護・支援の拡充について（四宮啓先生古稀記念論文集428～446頁）
令和4年10月	・当事者主義と真相解明について（早稲田大学法学会百周年記念論文集第三巻213～232頁）